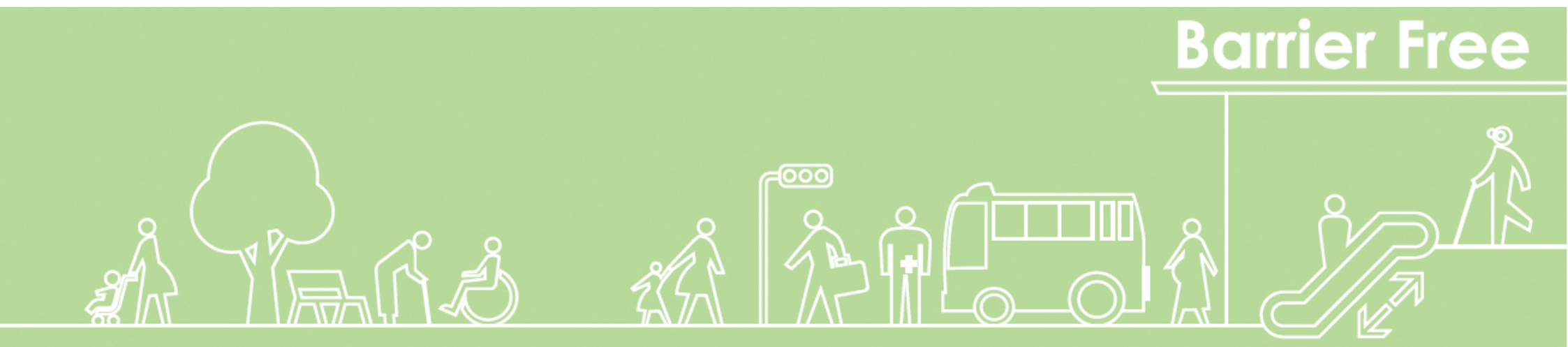


令和7年度 第1回専門部会

令和7年度バリアフリー関連施策の実施報告



当事者団体へのヒアリング

■実施概要

- ・令和7年7月12日に「日本弱視者ネットワーク」の方等13名にヒアリングを実施
- ・さいたま市内の交通機関や道路、施設等に関して評価点や改善点等を確認
- ・いただいたご意見を基本構想改定の資料として活用

■主なご意見

- ・ バス車外でも 音声でバスの行き先が分かるものがあるとよい
- ・ 駅のエレベーターは乗降口に音声案内がなく、どこ(何番線の何線のどこ行きのホーム)に行くかが分からない
- ・ 大宮駅の有人改札がタッチパネルになっており、駅員の呼び出し方が分からなかった
- ・ 埼京線や武蔵野線の駅に早く ホームドアをつけてほしい
- ・ 駅前の触知案内図は存在自体を知らなかったし、知っていた場合でも「右に〇メートル、左に〇メートル」と 数多くの情報を言われてもその場で すべて暗記することはできない。
- ・ 歩道のない道路では 外側線(白線)を手掛かりに歩くが、外側線の近くに電柱などが立っていてぶつかることがある。
- ・ 信号機の音声案内に「ここは〇〇交差点です」という案内があると自分の位置が確認でき安心する。
- ・ 飲食店の注文が タッチパネルだと視認性によっては注文できない。店員に注文をお願いしたら断られたことがある
- ・ エスカレーターは注意喚起の音声よりも どこに行くかを伝える音声を流してほしい